

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
1	02雲南	02地域医療対策	01医療提供体制	地域医療に関する事項について	<p>・人口当たりによると、雲南圏域は最低の医師数である。県全体として医師の偏在が生じないような対策を講じてほしい。</p> <p>・公立雲南総合病院を市立病院に移行することで、検討中である。市立病院の開設にあわせ、精神科病棟を閉鎖する方向だが、このことに対する患者への負担、不安も大きい。県として今後とも支援をお願いしたい。</p> <p>・県内市町村で地域医療を守るため、専門部署を設ける自治体が多くなっているが、県で情報交換の場を設けてほしい。</p>	<p>・医師確保については、国の制度によるところが大きく、県としても具体的に提案し、医師不足や地域偏在の解消に向けた抜本的対策を要望。</p> <p>・県では、地域医療再生計画で基金を作り、今年度から実施。具体的には学生に加え研修医に対し研修資金の貸与制度の創設。また、島根大学に寄附講座として地域医療支援学講座を設け、島根大学を中心に各大学との連携を強化する。</p> <p>・雲南圏域は、早くから住民運動として我が町の病院を守ろうとする活動が活発である。このような事が今後ますます重要になると思われるし、県としても保健所を中心にこのような活動を支援する。</p> <p>・各市町村において地域医療を行政として取り組み、中には医師確保・看護師確保に特化した部署を設ける自治体も増えてきた。県としてもいろいろな場を活用し、市町村と県、あるいは市町村同志で意見交換、情報交換できる場を作っていきたい。</p>	<p>・住民が主体となった地域を守る活動の支援を引き続き実施する。</p> <p>・圏域を越えて住民団体や市町村が情報交換をする場を設置していく。</p> <p>・国の動きとして、医学部の入学定員の増（島大2、島大4）や、地域医療支援センターの整備運営への補助事業の創設、地域医療再生基金の拡充が行われた。</p> <p>県としても、既存の取組みに加え、新たな事業を活用し、地域医療の確保を図る。</p>	医療政策課
						<p>・精神科救急医療システムとして、各圏域ごとに夜間・休日の空床を確保している。雲南圏域では、県立こころの医療センターで空床確保してある。もし、こころの医療センターで空床確保できない場合は、松江・出雲の輪番制を活用し、空床確保する。</p> <p>・また、県では精神科救急情報センターを設置している。平日の昼間は各保健所、休日・夜間はこころの医療センターが窓口になる。</p> <p>・また、毎月1回「心の健康相談」を雲南保健所において実施している。心の悩みに対し、専門医が健康相談を受けている。予約制であるが、料金はかからない。</p>	回答のとおり	障がい福祉課
2	02雲南	02地域医療対策	01医療提供体制	地域医療再生計画事業について	<p>・今年度申請取りまとめが終わった事業について、追加で提出したい事業もあるが、柔軟な対応はできないか。</p>	<p>・国庫補助事業もあり、県だけで判断できないものもあるが、各現場での要望やご意見は聞かせていただきたい。事業費については、余裕があれば再募集も考えたいし、予算の組み替えなどで要望の多いところには可能な限り応えていきたい。</p> <p>・分娩手当の件でお困りとのこと。国庫補助なので、確定的な話は出来ないが、昨年は追加募集あり。今年も追加募集の可能性もあるので、引き続き担当者に相談して頂きたい。</p>	<p>・H22年度の実施・要望状況を踏まえ、H23年度取組に際して、変更可能なものについては対応していきたい。</p> <p>・追加要望で対応済み</p>	医療政策課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
3	02雲南	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	子宮頸がんワクチン等の接種について	・子宮頸がんワクチンは昨年日本で認可されているが、予防接種法の定期接種にはなっていない。ヒブワクチンも同様。これらの接種費用を各自自治体でなく、国で負担するよう要望してほしい。	・現在厚生労働省の予防接種部会において、HPV、ヒブと肺炎球菌の3種類のワクチンについて、予防接種法の定期接種の疾病対象にするかどうかについての検討が進められている。 ・県の動きとしては、6月議会において国に対しての意見書の提出が行われたところ。県としても議会と連携を図りながらHPV等のワクチン接種について公費助成されるよう国に働きかけていきたい。	・子宮頸がん予防、ヒブ（インフルエンザ菌b型）、小児用肺炎球菌の3種類のワクチンについて、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設された。	健康推進課
4	02雲南	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	HPV併用検診検査について	・HPV検査は、現在県内9市町で助成が行われているが、鳥根県全域で実施できるよう県独自の助成も含めて検討してほしい。	・H19、20年度に出雲市、斐川町でモデル事業に取り組んだところ。特に低迷していた若年層の受診者数の増加が見られ、費用対効果の点でも優れた検査であることが確認されている。 ・平成22年度は県内17市町村で併用検診の実施体制を整備し、うち11市町で公費助成を実施、県内での取り組みが広がっている。 ・雲南市でも、有効かつ効果的なHPV併用検診の実施に是非取り組んで頂きたい。	・HPVの併用検診については、実施市町村、公費助成市町村とも平成23年度はさらに増える見込である。 ・なお、子宮頸がん予防ワクチン接種に係る助成制度が創設されたが、ワクチン接種に加えて検診受診の重要性等についての理解を深めることも大切であり、啓発用リーフレットを作成し配布した。	健康推進課
5	02雲南	04高齢者施策	01介護保険制度	介護職員処遇改善交付金について	・これも平成24年までの事業と思うが、是非継続をお願いしたい。対象が介護職員に限られ、医療関係介護リハ病棟の職員なども対象となるようお願いしたい。	・制度そのものが介護職員の賃金が低いことで介護職のなり手がなかったり、離職するという実態で国が構築したもの。 ・介護処遇改善交付金をそのまま続けるより、全ての職員の賃金上がるような形で、介護報酬へのプラス改定を要望していく必要があると考えている。	・介護職員処遇改善分については、介護報酬に盛り込むか、交付金として継続するのか、次期介護報酬改定に向け国で検討中	高齢者福祉課
6	02雲南	04高齢者施策	01介護保険制度	介護療養病床の再編について	・介護療養病床の廃止について、最近の情勢を教えてほしい。	・最近の厚生労働大臣の発言では介護療養病床を廃止することは法律で決定した事項であり、撤回しないという言い方をしている。 ・国はその後何度も意向調査を重ね、9月頃には療養病床をどうしていくのかという事について方向性を出したいといっており、その頃には方針が出るものと思っている。	・平成24、3末廃止については、6年転換期限を延長することで介護保険法等の一部を改正する法律案に盛り込み国会に提出される方針。	高齢者福祉課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
7	02雲南	04高齢者施策	03認知症対策	高齢者の認知症対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から、高齢者の生きがい対策で「ふれあいサロン」を実施している。今後、高齢者の認知症対策については、非常に重要な課題となっていくと考えており、取組の充実を図っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国でも認知症対策を重点的に進めなくてはならないと言っており、県においてもサービスはもとより、認知症の方及び家族の方々をどう支えていくかが課題と考えている。</li> <li>・市町村事業で、「地域支援事業」があり、要介護状態になる前の方を特定高齢者として指定し、サロンのなどところで閉じこもり予防など介護予防に繋がる取組をしている市町村はある。条件などの詳細は各市町村に問い合わせさせていただきたい。</li> <li>・県としても認知症全般については、数の把握、医療と介護の連携、早めの確定診断やサービスに繋げていく対策など重点的に取り組み、今後も力を入れてやっていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度認知症疾患医療センターの設置にあわせ、サポート医養成研修を拡充</li> </ul>	高齢者福祉課
8	02雲南	06障がい施策	01自立支援関係	自立支援協議会の設置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南圏域1市2町はどこも自立支援協議会ができていない。行政だけでなく、いろいろな機関、団体などの意見を聞き、圏域の障害者の問題を議論してほしい。</li> <li>・現在の1市2町の自立支援協議会の立ち上げの状況等について説明頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自立支援協議会は相談支援事業を始め、地域の障がい福祉に関するシステムづくりについて、中核的な役割を果たす定期的な協議の場として市町村に設置される重要な役割を果たすもの。</li> <li>・県としては、未設置の市町村に対しては早期に設置するようこれまで助言を行ってきたところ。</li> <li>・雲南圏域においても、障がい者自立支援協議会の趣旨に沿った取組が動き出しつつあると認識している。</li> <li>・雲南市は、現在設立準備会を設置して、準備を進めているところ。奥出雲町は、協議会に相当する役割を持つ組織は既にあり、今回設置済みという考えに変更したいとのこと。飯南町についても、準備会は行っているため、設置について詰めを急ぎたいとの回答。</li> <li>・今後は、県が設置している相談支援アドバイザーの協力を得て、各圏域単位での関係者による意見交換や個別市町村に対する設置運営方法に関する具体的な助言での支援を行ってきたい。</li> <li>・また、各圏域ごとに相談支援コーディネーターも置いており、これらの方から市町村の自立支援協議会や事業者の方への調整の役割を果たして貰うよう働きかけていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲南圏域市町村を始め、協議会未設置の市町村に対しては、圏域別に市町村との意見交換やアドバイザー派遣を行い、設置に向け、助言・勧奨を行った。現在、雲南圏域では全市町村で設置済みである。</li> <li>また、市町村協議会の運営支援として、市町村自立支援協議会委員等研修会を開催し、情報提供や取組状況に関する意見交換を行った。</li> </ul>	障がい福祉課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
9	02雲南	06障がい施策	05障害者団体	身障協会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県で障がい手帳を交付した数、雲南市での手帳交付数を教えてほしい</li> <li>・身障手帳所持者のうち協会への入会者が少ない。市からの補助金もその殆どを県の協会へ会費として納めることになり、殆ど事業ができない状況である。個人情報保護の観点はあるが、可能な範囲で教えて貰えると会員募集にも歩ける。よろしく願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域ごとの数字までは本日は不明だが、県全体では身体障害者手帳所持者数が約4万人弱。4分の3の約3万人が65歳以上の高齢者。知的障がい者の療育手帳は県全体で約6千人。精神障がい者の場合は手帳の所持者数と障がいのある方の実態には乖離があると思う。</li> <li>・障がい福祉を進める上で、障がい者団体の方が自ら組織、活動され意見を出されることは大切なこと。現在国では、新しい障がい者福祉の総合的な法律を作ろうということで検討中。まだ、議論の結論までに至っていないが、その中で障がい者団体の組織作りの中で行政から何か応援は出来ないかという議論が進んでいると聞いている。今後の検討推移を見守っている。</li> </ul>	回答のとおり	障がい福祉課
10	02雲南	06障がい施策	06バリアフリー	身体障害者駐車場について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害者駐車場のスペースは4級以上でないと使えないが、5級でも不自由な方で、使えたらよいと思う方がいる。枠を広げる方向で考えられないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥根県は「思いやり駐車場」という名称で実施している。</li> <li>・下肢に障がいがある場合は、5級や6級でも対象となる。障がいの区分によって対象となる級は異なるので、個別にご相談いただきたいと思う。</li> </ul>	回答のとおり	障がい福祉課
11	02雲南	06障がい施策	06バリアフリー	身体障害者駐車場制度の周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、上記の詳しい情報がおそらく窓口で分かっている。情報伝達、周知に努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この取組は、県を超えて鳥取県とも一緒に行っている。さらに広げていこうと考えているので、制度の周知に努めていきたい。</li> </ul>	回答のとおり	障がい福祉課